

すわみつえ通信

No.96 2019年10月28日(月)

日本共産党鴻巣市会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

洪水警報が出た新ごみ処理施設建設予定地付近=10月25日



国が機械的に基準を決め病院を名指して、議論を迫る異例の手法は強い反発を呼んでいます。全国知事会など地方3団体は「地域住民の不信を招いて」いるとする意見書を出しました。

「市立病院の構想を今年3月にまとめて議論を始めたばかり。地方の「の取り組みに水を差す発表だ。患者・医師・看護師から不安の声が上がっています。」

(蕨市議)

全国知事会などが国に意見書

病院などをリストアップしたもので、病床の削減や、診療科の集約への動きを加速させることが狙いでです。

重症者に対応する「高度急性期」病棟などがある全国1455病院を分析したがん治療や救急医療の実績が少なかつたり、車で20分以内に似た診療実績のある別施設が存在したりする

厚生労働省は、地方自治体が運営する公立病院と、日本赤十字や済生会などが運営する公的病院の再編統合に向けた議論を促すとして、全国424の病院名を公表しました。

地域医療壊すな!

公立・公的病院の再編統合に病院名公表

伊藤岳参院議員と国会内で厚労省担当者からレクチャーを受ける



参院議員会館にて聞き取り=10月23日

「国の許可を得て、今年建て替えたばかり。議論の材料として提供していただけた。(さいたま市議)

「民間がやらない産科を市立病院が担ってきた。黒字化にするために頑張っている中での公表で、患者不安をあおるだけ。病床数に対して交付税が措置されてきたが、今後は稼働数に対しての交付税に変わらるのか。」(梅村さえ)

等、多くの質問と実情の訴えが出されました。

住民の命と健康に 責任を

「秋のクリーン鴻巣市民運動」に参加。自治会の皆さんと一緒に街をきれいにしました。気持ちの良い1日になりました。

10月27日(日) 赤見台



再編統合の「病院のひとつである北里メディカルセンター」に、救急搬送などの医療連携をとっている鴻巣市としても看過できないことです。

鴻巣市に病院誘致を求めるに同時に、国が進めの公立・公的病院の再編統合には地域から意見を述べていきましょう。

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

教員の私たちが大変になるという問題にとどまらない。この国の教育をどう考えるか、という国民の問題なんです▼1年単位の変形労働時間制導入に批判が強まっています。「繁忙期」に長く働かせ、「閑散期」の勤務時間を短くして夏休みも取りやすくする、と言い張る国。でも、「今は何とか頑張ろう」という無理は長続きしない。なぜなら生身の人間だから▼子育てや介護と両立ができないくなるだけではない。「乏しい生活時間が、さらに奪われる」と教員は危機感を募らせます。新聞を読めないどころか、テレビを見る気力さえわかない。平日の所定勤務時間が延びれば、学校と家との往復だけ。それでどうして、豊かな教育実践をつむぐことができるのかと▼「変形制」の名前通り、労働時間の総量は減らさずに「変形」させて、負担軽減のようにごまかすしくみです。おしなべて教育にお金をかけないこの国の貧しい発想が、これほど浮き彫りになる施策も珍しい▼「教職員がこんなに過酷な労働を強いられているとは」「親として、教師を取り巻く環境の改悪ではなく改善を望みます」…。現役教員が呼びかけたネット署名には、保護者や市民からの声も続々と寄せられています。共産党は21日、長時間労働解消のための提言を発表。導入を許さない世論と運動を強めようと呼びかけます▼教員を人として尊重する。子どもを人として尊重する。この二つを重ね合わせてこそ、幸せな学校に。そのために、ほんの少しの勇気でその手をのばして。

ドキュメンタリー映画

しんぶん赤旗 10月22日付

先生クタクタにして生徒と引き離す満
白川ただし

ドキュメン